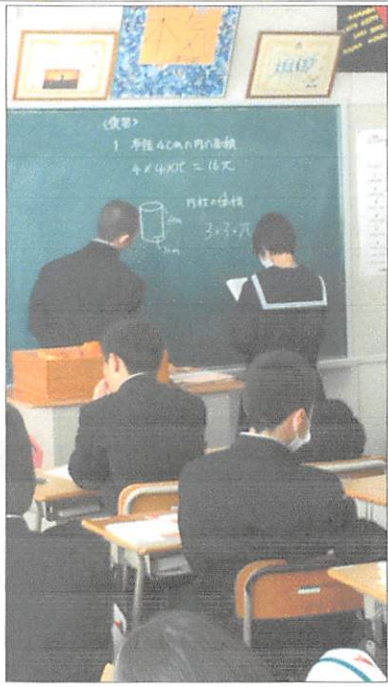




平成29年 2月13日 NO.61

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116
 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

学力向上のためには復習が必要



1年生の数学のクラスでは、最初の5分で、前時の復習問題を解いていました。

①『半径4cmの円の面積を求めよ』
 ②『底面の半径が3cm、高さが6cmの円柱の体積を求めよ』
 という問題でした。

自力解決の時間をとり、数分後には、全体で答え合わせをしていました。

ドイツの心理学者、エビングハウスによると、人は、学習してから2時間で約70%を忘れてしまうということです。

しかし、その後の忘却率はぐっと減り、1日後でも約25%は覚えているといわれます。

エビングハウスの実験から、記憶の定着のためには、復習が大切だということがわかります。

家庭学習で、サッとノートを見直す、一度で完璧に覚えることにとられ過ぎず、こまめに繰り返す学習法が、とても有効だといえます。

授業の中でも同じことが言えます。「毎時間、短時間を設定して復習する。」

「毎時間が無理なら、単元計画の中に、復習の時間を複数回位置付けて、学習内容が完全に忘却される前に、記憶の再定着を図る。」

このようなことが大切になってくるだろうと考えています。

『「復習」をいかに行うか、家庭学習や普段の授業の中に、どのように位置付けるか、という課題が、これからの常澄中学校の学力向上のための、一つのポイントとなってくる。』

次年度の構想を練るにあたり、学校では、このような課題意識をもっています。

常中魂
園部徹哉さん



成功する人は
やる気のスイングを
ひたす

常中魂
鈴木聖海さん



見方と角度を
少し変えれば
上手になる

常中魂
高繁栄史さん



苦難と逃げず
直進せよ

常中魂
鈴木穂乃花さん



手が届かない時は
手を伸ばせ

